

平成30年度 第2回宝塚市自立支援協議会 定例会 議事概要

日 時：平成31年3月4日（月） 13：30～15：30

場 所：宝塚市総合福祉センター2階 会議室

出席者：24名

議題

1 3月22日開催 平成30年度第2回全体会のプログラム確認

【内容】

各専門部会活動結果報告および意見交換

※通常、全体会では第二部として各専門部会のテーマに沿った講演会を行っているが、各専門部会に関する意見交換に充てる時間を増やすべきという意見が挙げられたため、今回については試験的に講演を行わず、各部会の報告と意見交換のみで進行する。

なお、次年度以降の全体会について、講演を廃止する訳ではなく、年度内に二回開催する全体会のうち一度は講演を行うというような形も検討している。

※全体会終了後、宝塚市障害者差別解消支援地域協議会代表者会議を同会場にて開催する。

2 各専門部会結果報告（※詳細については各部会の活動結果報告書を参照。）

(1) しごと部会 報告者：部会長

・協議テーマ「合理的配慮に関するフィードバック」について

今年度は昨年度までのテーマ「合理的配慮」について、各委員が自らの所属機関に持ち帰った結果を部会で順に発表していくという「合理的配慮についてのフィードバック」を行った。ハローワークに所属している委員からは障害のある方が来所した際の窓口での配慮や合理的配慮に関する企業への助言といった取り組み、福祉サービスを展開するNPO法人からは利用者に対する配慮についての報告があった。

・第6回福祉事業所合同説明会について

9月にアピアホールにて開催し、悪天候にも関わらず100名近くの来場者を数え、終始会場は活気づいていた。チラシの配布先を拡大したこともあり、他市からの参加者も増加した。一方で来場者アンケートでは「ブースが空くのを待っている時間が長すぎる」といった声も聞かれたため、次年度以降は改善を図るためのルール作り等も念頭に置いて運営を行う。

・第6回雇用啓発セミナーについて

主に精神障害・発達障害のある方の就労定着のために開発されたWEB上で管理する日報システム『SPIS』を開発した「有限会社奥進システム」の奥脇 学

代表取締役を講師に招いた。会場は超満員となり、企業の経営者や人事担当者も参加する等、障害のある方の雇用定着について企業の関心の高さが伺えた。

・共同受注窓口について

「グッドジョブ」の名称で法人格を取得し、11月に総合福祉センターにて設立記念式典を開催した。当事者の方が自らの事業所の活動内容について発表を行うなど、盛況のうちに式典は終了した。企業・行政からの受注も増加しつつあり、今後はしごと部会としてもグッドジョブの動きを応援していく。

(2) けんり・くらし部会（地域移行Gr）報告者：部会長

精神科病院に任意入院している方の退院における地域移行支援事業の活用促進を目標に、部会の委員に入っている精神科病院職員からのヒアリングや障害福祉課職員（精神保健福祉士）による地域移行支援事業の制度説明、先進的に地域移行に取り組んでいる他市相談支援事業所の職員を招いての勉強会等を行った。

部会での協議で浮かび上がった課題を基に、今後、病院からの移行については相談支援事業所と精神科病院の連携強化やピアサポーターの活用促進に取り組んでいく。次年度以降の部会での協議内容については改めて検討していく。

(3) こども部会 報告者：部会長

たからっ子ノートについて

「たからっ子ノートを手にしたはいいが、使い方がよくわからない」という声が保護者や学校の先生から挙がっていたため、今年度はワーキングを立ち上げ、「たからっ子ノート活用ガイドブック」を作成した。12月に完成し、市HPからのダウンロードが可能となっている。当事者、学校等の先生、福祉サービス事業者それぞれに向けた説明書きを盛り込んでいる。

きょうだい児支援について

1月にこども部会の主催にて、きょうだい児支援をテーマにした講演会を開催した。講師には病気や障害のある子どものきょうだいをサポートする活動をしているNPO法人「しぶたね」より、清田 久悠 氏を招いた。

講演会は大変盛況であり、参加者から集計したアンケートの中には、きょうだい児に対する自身の思いを綴るものもあり、関心の高さを伺うことができた。

放課後等デイサービスの現状について

所属している生徒がどの放課後デイに通っているか、学校側も全て把握しきれていないという現状がある。更なる現状確認と課題整理のため、各学校にアンケート調査を行い、次年度以降その結果をもって対応策を検討していく。

(4) けんり・くらし部会（地域生活G r） 報告者：部会長

・ワーキング「精神保健医療福祉連携推進会議」について

主に精神科病院からの退院を考えている人に向けた、宝塚市の社会資源紹介リーフレットを作成するための活動を行っている。当事者の方のリカバリーストーリーや日常生活における困りごととその解決方法（Q&A形式を想定）、地域の社会資源情報や自身の情報を書き込むことができるマイページを内容として盛り込む方針であり、次年度は掲載情報をより精査し、具体的なレイアウトの検討にも入っていく。

・専門部会について

前年度までのテーマ「高齢化」と「医療的ケア」を踏まえ、今年度は部会に当事者の方を招き、「地域生活を送る上で困っていること」についてヒアリングを行った。住居の見つけづらさやヘルパーの不足、医療機関へのアクセスのしづらさといった部分が困りごととして挙げられ、地域生活G rとして取り組むことのできる部分を検討し、次年度以降の協議に活かしていく。

3 その他

市民福祉金廃止に伴う代替施策について 報告者：宝塚市福祉推進室長

① 多機能施設の整備について

想定している機能を整理し、委託に向けた協議を行うことができる法人を選定していく段階にある。

② 次年度の新たな基金の用途について

平成31年度は共同受注窓口「グッドジョブ」に対する補助金を計上する予定である。

全体会の日程等

平成30年度第2回宝塚市自立支援協議会全体会

平成31年3月22日（金）13時30分～

宝塚市西公民館 ホール

※一般傍聴可能

※全体会終了後、同会場にて宝塚市障害者差別解消支援地域協議会（代表者会議）を開催。